

# 小布施のための、3つの建築的提案 —〈アート、農業、医療〉—

私たち国土館大学南泰裕研究室のチームは、小布施の歴史や文化、地域の特色を考慮した上で、国際避難民村という課題に対し、3つの建築的提案を行います。

提案の骨子をなすのは、避難民を〈ワールド・トラベラー〉と捉え直し、それらの人々との交流を通じて、新たな価値と産業の創造を生み出そう、というものです。

ここではそれぞれ、滞在できる人々の数を100名程度、見込みます。が、その際に、この地に避難する方々の滞在施設を新たに作るだけでなく、既存の空き家を利活用します。その上で、〈アート・農業・医療〉に関連する複合施設を創出し、地域の内外に渡り新しい就業を生む契機を見込みます。

そこで、これら3つの計画案を、下記のように考えます。

## A：アート関連施設 ART REFUGEE

様々な課題を抱える世界の地域において、芸術作品や文化的資産を保護するため、アート作品の避難場所としての施設を計画する。

合わせて、避難する方々の滞在施設を50名分準備し、加えて50名分の滞在を、既存の空き家利用によってまかなう。

## B：農業関連施設 SMART AGRICULTURE LAB

スマート農業の施設を計画し、場所の制約によらない、新たな農業の可能性を探る。

ここでは、あえて滞在施設を設けず、100名分の滞在施設を、全て既存の空き家でまかなう。

## C：医療関連施設 MEDICAL RETREAT

近隣に新生病院および温泉施設があることを考慮し、地域との連携を踏まえて、広義の医療施設としての湯治場を計画する。

ここでは将来的に、温泉保養施設としての一般利用を見込み、100名分の滞在施設を準備する。

様々な可能性を担保した、上記の3つの計画案を通して、難民にまつわる国際的貢献の一助となることを目指します。と同時に小布施町が、自律した地域の可能性を秘めた町として、新しい次元での発展に向かうことを願っています。

国土館大学教授 南泰裕



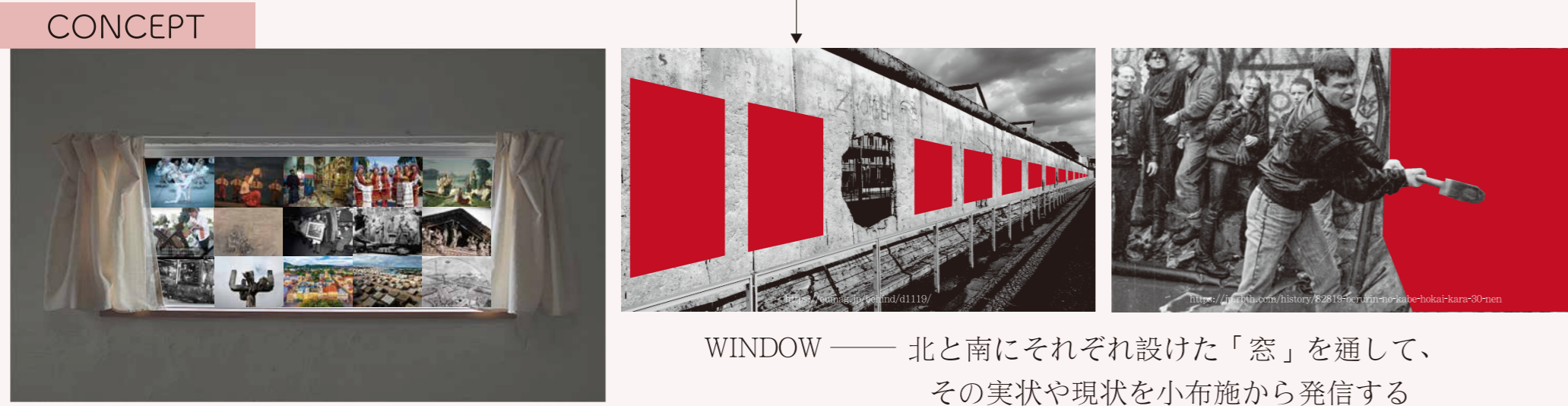
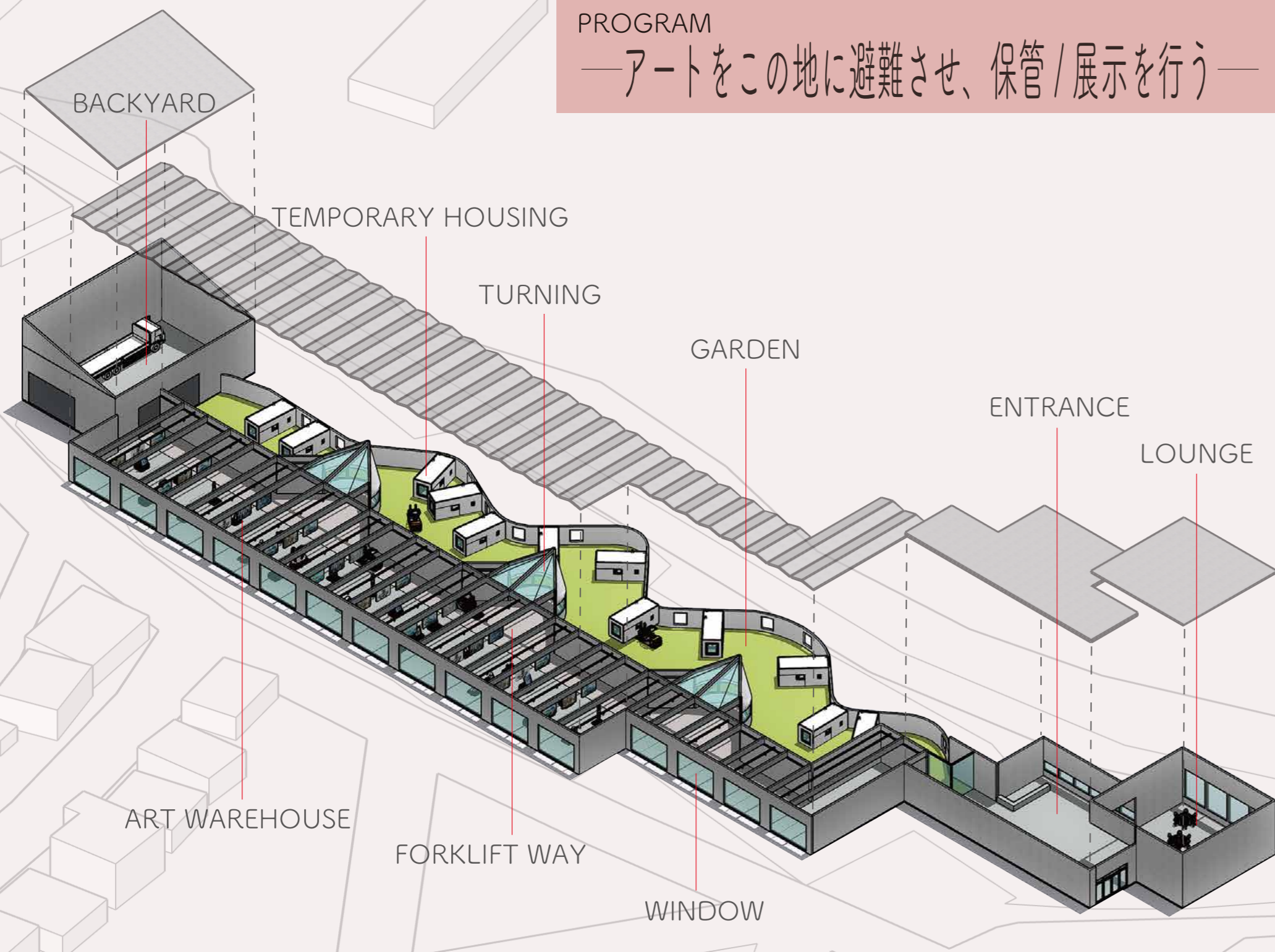
# OBUSE SURVEY

小布施町、および国際避難民について、研究室でのブレインストーミングにより、リサーチとディスカッションを繰り返した。その結果、小布施と国際避難民施設を繋ぐキーワードとして、〈アート、農業、医療〉という3つのテーマが浮かび上がってきた。

## A. ART REFUGEE

### アート × 避難村

PROGRAM  
—アートをこの地に避難させ、保管/展示を行う—

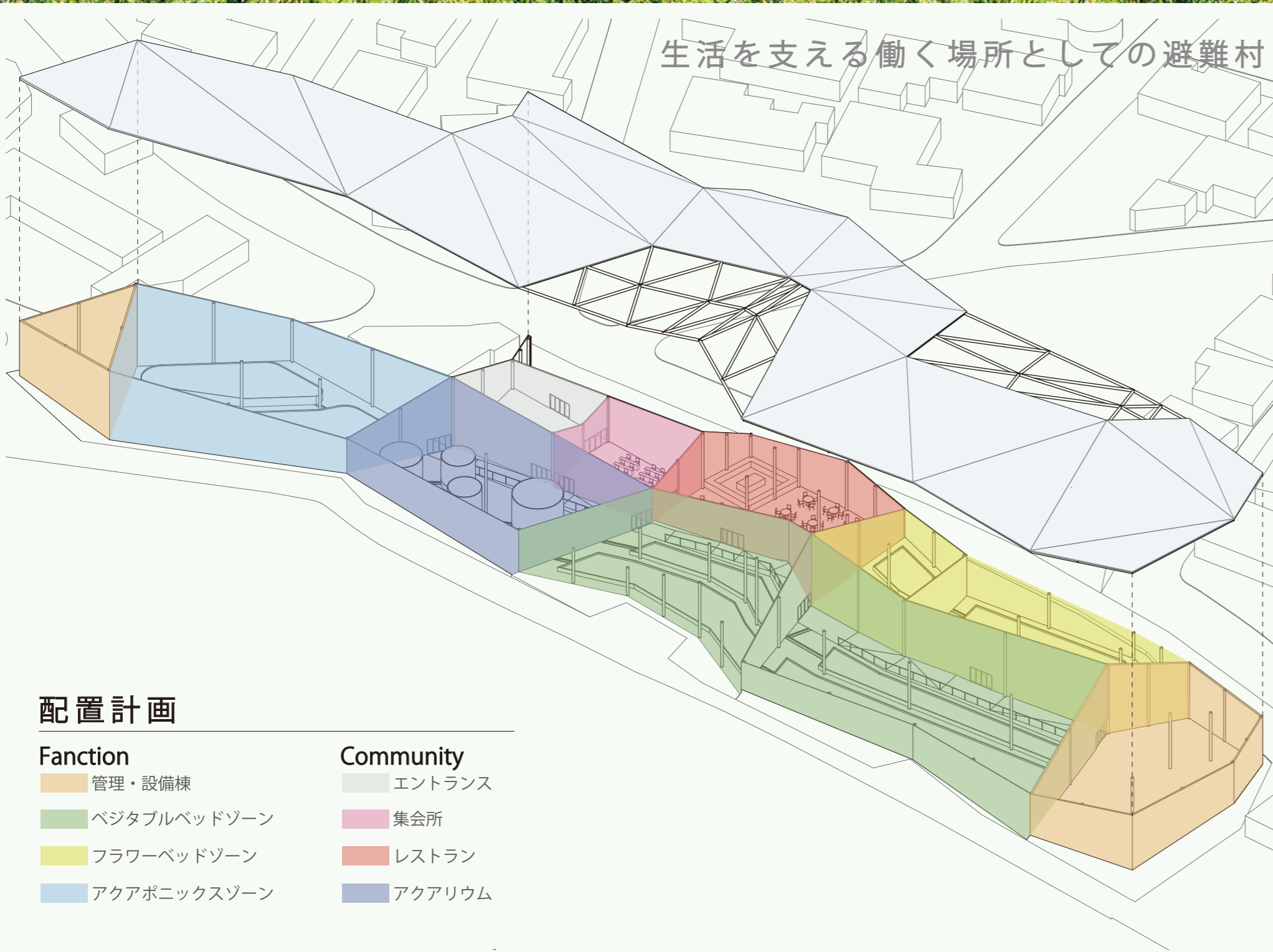


1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020
提案のキーワード	アート		農業		ヘルスケア / 湯治		
ウクライナとの関わり方	文化支援 / ジャーナリズム		事業投資 / 雇用支援		公共事業の時間軸に難民支援を組み込む		
想定事業主体	・ウクライナの文化事業にかかわる省庁、財団、職員 ・文化財保護に出資する日本の財団、NGO ・小布施の文化事業にかかわる人々		・小布施の農家、農協 ・大学等の研究機関 (信州大学?) ・民間テック企業		小布施町と新生病院		
建築のタイポロジー	倉庫・美術館・劇場		農業用グリーンハウス・研究施設(オフィス)		宿泊施設 (ホテル / 旅館)		
難民住宅の考え方	仮設		町の空き家利用		恒久的		

# B. SMART AGRICULTURE LAB

## 農業関連施設

生活を支える働く場所としての避難村



### 配置計画

- | Faction     | Community |
|-------------|-----------|
| 管理・設備棟      | エントランス    |
| ベジタブルベッドゾーン | 集会所       |
| フラワーベッドゾーン  | レストラン     |
| アクアポニクスゾーン  | アクアリウム    |

### 01 空き家について



現在小布施には多くの空き家が存在しているため、新たに居住施設をつくる必要性は低いと考え、それよりも美質な生活の支えとなる働く場の提供について深く考えた。

### 03 アクアポニクス



新しい提案としてアクアポニクスというシステムを取り入れる。アクアポニクスとは、水耕栽培と養殖を掛け合わせた、次世代の循環型農業のことである。

### 02 スマート農業



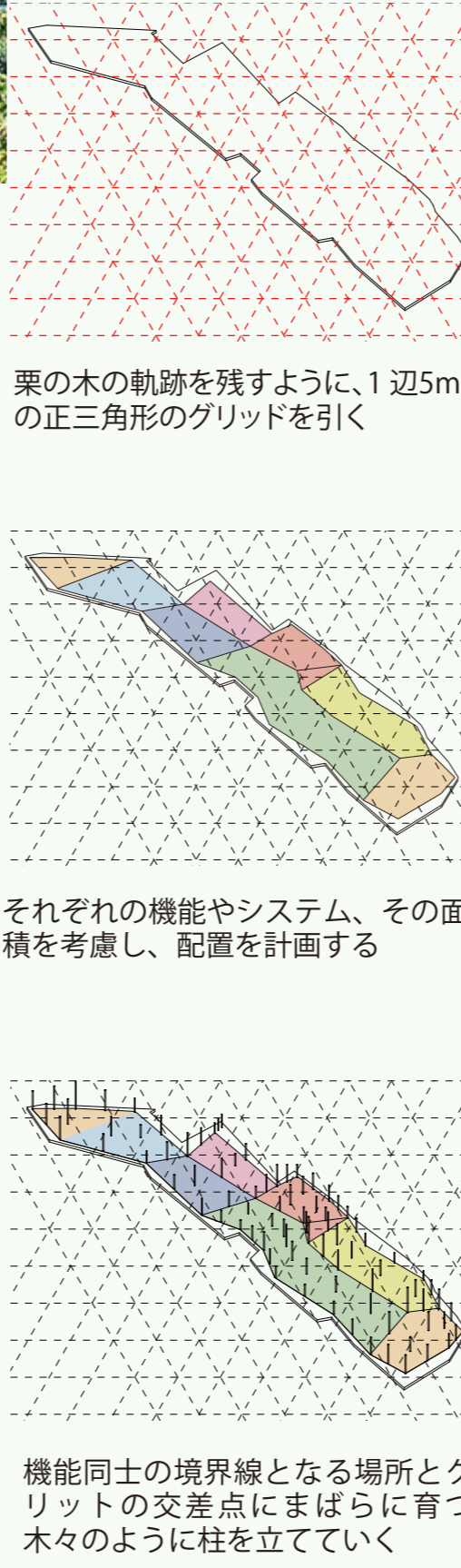
ウクライナの主要な産業としてのITと小布施の主要な産業である農業を合わせた「スマート農業」を提案する。

### 04 小布施との関り

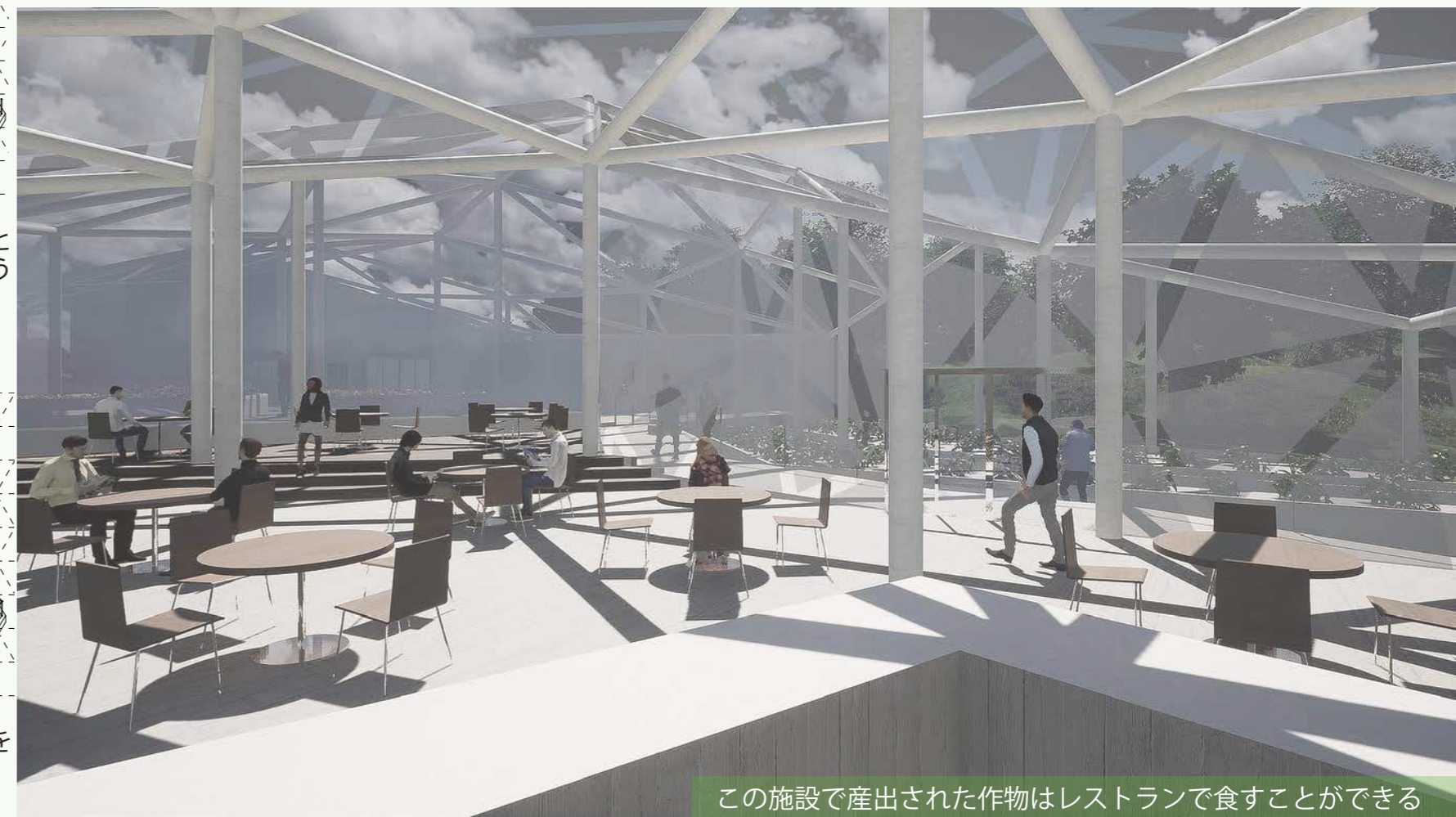
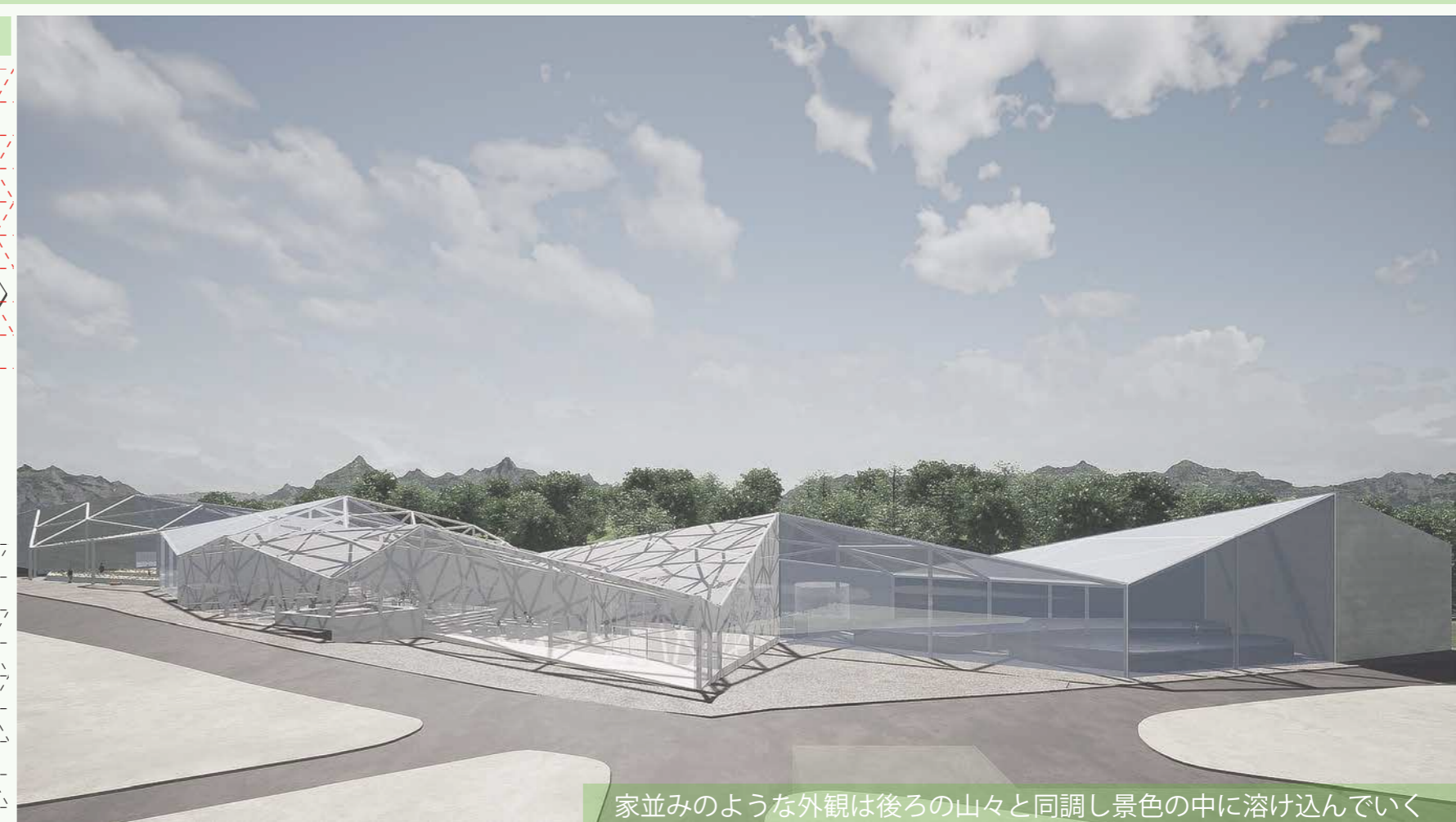


柱の頂点を繋ぎ、壁や屋根で全体を覆うことでそれぞれの空間を繋ぐ

### 05 ダイアグラム



それぞれの機能のフロアラインと柱の高さを敷地の地形に寄り添うように変化させていく



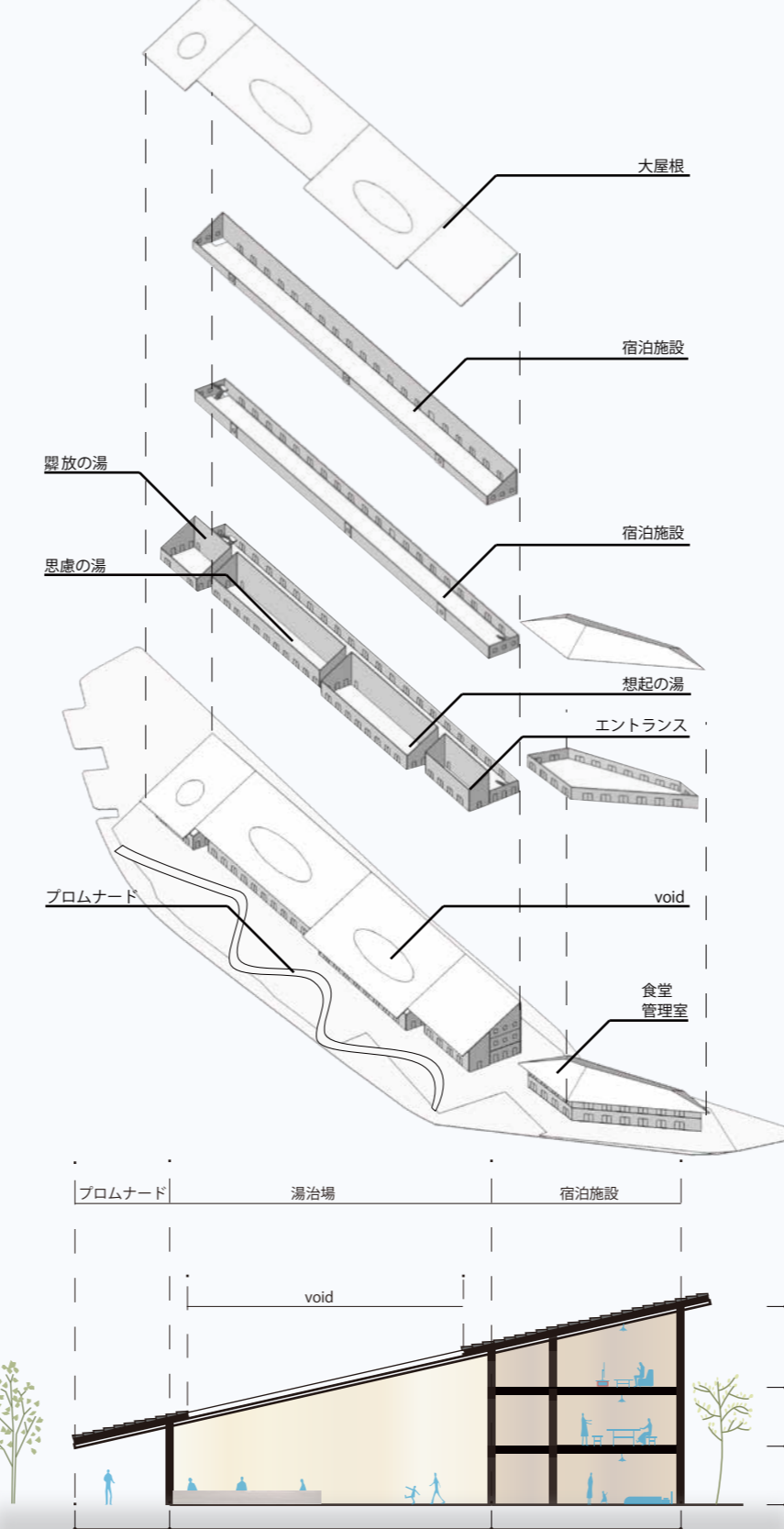
# C. MEDICAL RETREAT

## 医療関連施設

温泉とプロナードによるヘルスケアを目的とした湯治場



### 05 構成ダイアグラム



### 01 背景

身元引受けがない方への主な支援	ウクライナ避難民に対する支援内容について	令和4年6月
生活支援	生活支援(食料、衣類、日用品)	生活支援(食料、衣類、日用品)
医療支援	医療支援(通訳、診察)	医療支援(通訳、診察)
心理的支援	心理的支援(カウンセリング)	心理的支援(カウンセリング)
法的支援	法的支援(入国申請)	法的支援(入国申請)
職業支援	職業支援(求職支援)	職業支援(求職支援)
その他	その他(言語学習)	その他(言語学習)

出典：出入国在留管理庁「ウクライナ避難民に対する支援内容について」  
https://www.moj.go.jp/isa/content/00137112.pdf

### 02 湯治



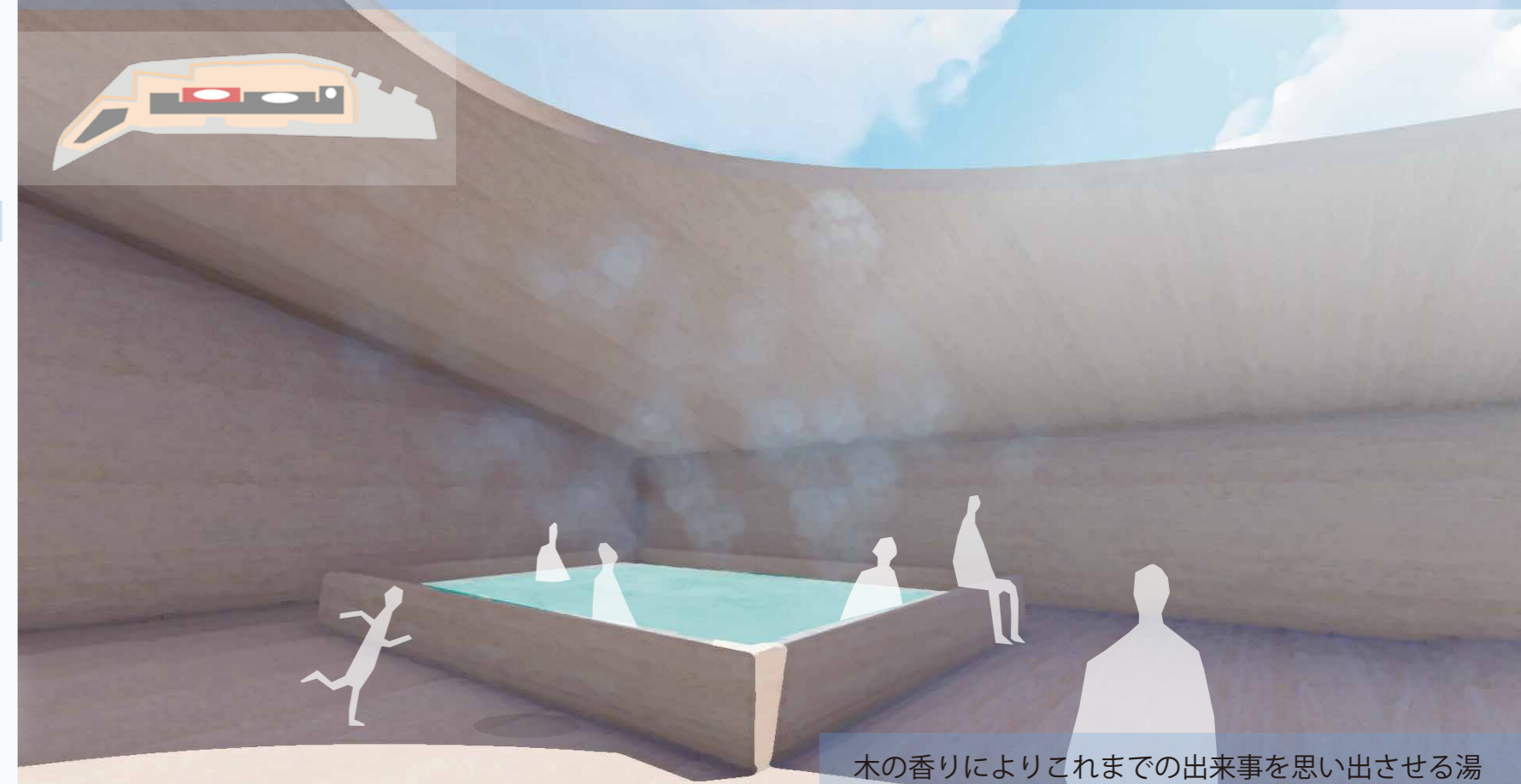
### 03 敷地



### 04 プロムナード



### 1巡り『想起の湯』



### 2巡り『思慮の湯』



### 3巡り『解放の湯』

